

一般社団法人障がい者アート協会

# 第6期 事業報告書

2020年12月～2021年11月



作品名：「共存」  
////////////////////////////////////

artist：城岸美稀  
////////////////////////////////////

# 目次

I. 総括	P3
II. 個別テーマ	P4
・経済支援実績：著作権利用料及び創作活動応援費	
・障がい者アート周知活動：オンラインギャラリー運営	
・作品二次利用：収益事業及びその他収入	
・財務状況：収支・資本	
・その他：SDGs	
III. 7期課題と目標	P7
・安定運営の確保：独自案件への取り組み強化	
・支援体制の拡張：新しい時代への対応	
・適正な業務の管理と遂行：人的リソースの強化	
・在るべき姿の確立：目標再設定と課題の整理	
・7期主要数値目標	
IV. 参考資料 I、II、III	P8～11
・収益事業（作品二次利用）実績一例	
・可能性アートプロジェクト	
・財務諸表及び関連数値	

以上



Artist

城岸美稀（京都府在住 左足関節機能障害）アート全般に興味があるため、周囲の温かいお声かけのもと、モデルやライター、何でもチャレンジしています。海外で絵を制作することや、子供のための絵画教室を目指しています。

Title

「共存」はコロナが蔓延している頃に心が Happy になるよう制作されました。人間も動物も仲良く暮らすことのできる平和な世の中について考えて描かれた作品です。

## I. 総括

当協会の今期（第6期）は、障がい者の創作活動及びその作品周知、アーティストへの経済的精神的自立支援、そしてその活動を支える作品二次利用等の収益事業、いずれにおいてもこれまでにない実績を残し、団体設立当初よりモットーとしています「一人でも多くの障がいがありながらも創作活動を続ける人たちの一点でも多くの作品を、一人でも多くの人に手元に届け、見てもらう、知ってもらう。」を過去最大規模で実現することができた一年でありました。

一方で、うまくいかなかった取り組みや施策もありました。一昨年から進めてまいりました公益法人認定に向けた申請作業につきましてはその一つです。申請先とのやりとりや紆余曲折を経て、準備段階から申請に至るまで多大な時間とコストをかけながらも、最終的にはやむなく申請取り下げという残念な結果に終わった取り組みではありましたが、申請先から多々ご指導を受ける過程において学ぶことも多く、その他のうまく行かなかったいくつもの取り組みや施策から得た学びとあわせて今後の活動に活かしてまいります。

具体的な取り組みにつきまして、まずは今期（6期）上期に障がい者アート周知活動の中心となるオンラインギャラリー【アートの輪】が、国内最大の障がい者アートを発信するギャラリーとなりましたが、その後も順調に拡大を続け、6期末時点で登録者800名、公開作品数23000点という規模となり、支援対象の裾野拡大は当面止まりそうにない状況にあります。このことから見ても、いかにこれまで障がい者が簡単に参加できる「作品発表の場」が望まれ必要とされていたかという事実を認識するとともに、その責任に身の引き締まる思いであります。

次いで、収益事業も昨年のおよそ2倍の件数に対応し、SDGsに取り組む多くの企業様の黒子的役割を果たすことができたと考えます。結果的に大幅に増加した収入は協会運営を以前より安定させ、且つ作品の拡散による障がい者アートの周知という点でも年間20万人以上の人の手元に多くのアーティストの作品を届けるという確かな実績を残すことができました。

この実績は凸版印刷株式会社様との共催事業「可能性アートプロジェクト」や株式会社ハートウイングとの連携によるザ・ルイガンズ、スパアンドリゾート様が取り組むアートプロジェクトへの作品提供等、他団体との連携から生まれた成果であり、その重要性を強く確認する結果となりました。

また、これまで作品の二次利用先を積極的に開拓してまいりましたが、本年におきましても「墓石の彫り文字」や「デジタルサイネージ」といった新たな利用先を開拓いたしました。

その他、テレビやラジオ、或いは当協会の紹介動画制作や他社動画への出演、大学での講義等取り組みに関する広報的活動にも注力し、メインの活動を側面からカバーすることができました。

このように6期は、前期末に感じた「これまで取り組んできた周知のあり方、進め方についての手応え」確信すると同時に、「さらなる成長への手応え」を感じた一年でありました。

以上

## Ⅱ. 個別テーマ

### ■経済支援実績：著作権利用料及び創作活動応援費

当期の経済的障がい者支援については総額4,399千円（対前期約2.7倍）、対象者数のべ1,497人（対前期約1.5倍）と、前期実績を大幅に上回り過去最大規模の支援を実現することができました。

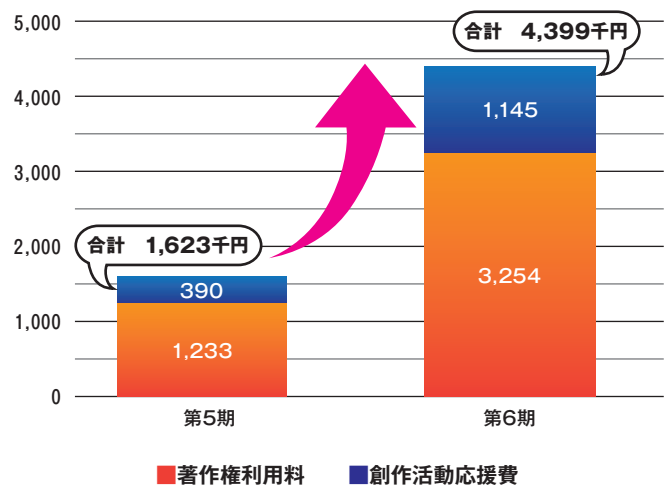
後述します収益事業案件の大幅な増加によって、著作権利用料を手にすることができた対象者は約2倍に増え、収益事業の単価が昨年よりアップしていることから一人あたり支援額も上昇傾向にあります。（※参考資料Ⅲ参照）

また、当協会独自の経済支援制度でありまず創作活動応援費につきましては、対象者が863人と前期から1.2倍増加し、更に前記課題でありました一人あたり支援額も上記増収に支えられ前期の約500円から約1,300円と増加させることができました。

前述しました金額もさることながら、著作権利用料及び創作活動応援費の支払い対象者（のべ人数）が前期の1,015人から1,497人と大きく増え、支援対象の裾野を確実に拡大させることができましたことを嬉しく思います。

経済支援額（著作権利用料・創作活動応援費）

（単位：千円）

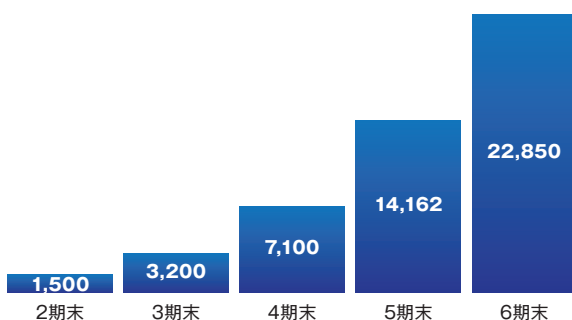


### ■障がい者アート周知活動：オンラインギャラリー運営

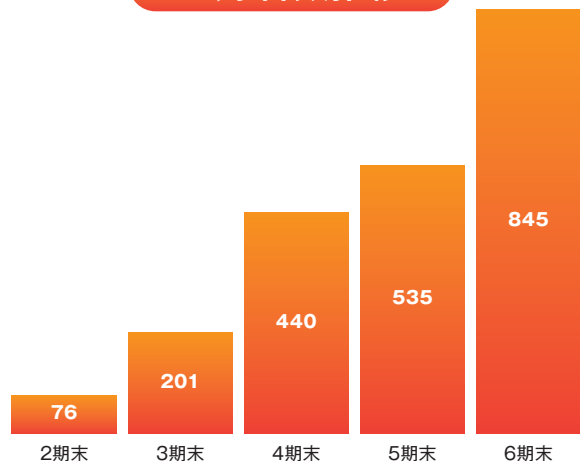
オンラインギャラリー【アートの輪】上での作品公開数、登録者数につきましては、総括に記載したように依然として急激な増加傾向を維持しています。作品数が20,000点を越え、順調に行けば次期中にも登録者が1,000人を超えることから、団体設立時に一つの目標としていた「登録者1,000人、作品数20,000点」という目標達成が見えてまいりました。

課題としては登録だけして作品未公開という人々が散見されるので、公開促進、フォロー等の対応を図り、さらに一点でも多くの作品を社会に発信して参ります。

作品数推移



登録者数推移



## ■作品二次利用：収益事業及びその他収入

作品二次利用を中心とした収益事業につきましては、金額ベースで前期に対し380%、件数ベースで前期比較約2倍の115件、一件あたりの単価も同程度上昇といずれも大きく伸ばすことができ、収入全体の70%を占める主要な柱として着実に成長してきたと考えています。（※参考資料Ⅲ参照）

この結果は総括でも触れました他社他団体との連携による成果とも言えます。

特に凸版印刷株式会社様との共催であります

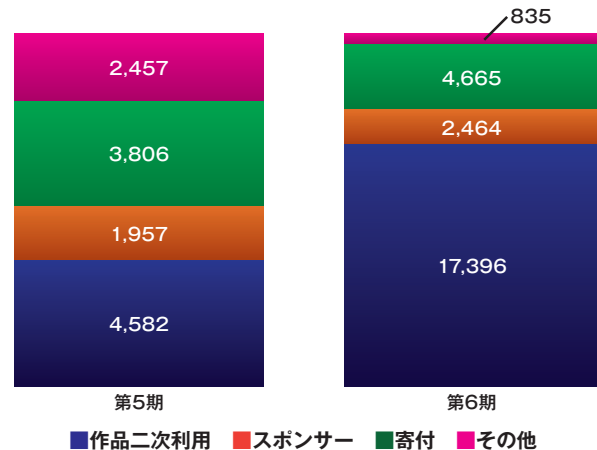


を通して継続的なご活用が多くありました。特に株式会社安藤・間様が取り込まれた仮囲いへのアート展開（事例：左画像）につきましては、全国北は北海道から南は九州（福岡・長崎）まで総数30箇所以上という一社の取り組みとしては国内では過去に例を見ない規模で活用していただき、収入面はもとより全国の人々へ障がい者のアート活動、作品を知って頂くことができたという意味で大変意義深いものとなりました。

また、工事現場での仮囲いについて言えば京急建設様による仮囲いを使ったデジタルサイネージ、株式会社レボル様による美容室店舗での全国的な展示、有限会社南印度洋行様が石材会社様に販売される墓石正面文字、株式会社オクムラ様が販売される中古PCへの壁紙バンドル等新しい展開先をこれまで同様に開拓できました。

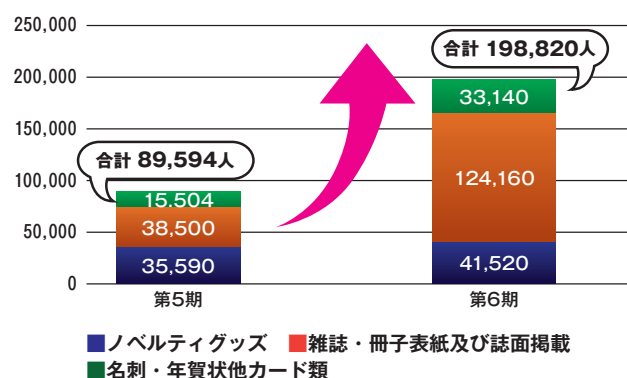
また、当協会が重要視しています作品拡散数につきましても、大幅増となりました。各作品の二次利用がもたらす拡散数は確定値として確認できるものだけでも昨年の約9万人から約20万人もの人に作品を届けたという結果になり、周知の裾野を広げる点で大きな意味を持っていると確信しています。

収入内訳



「可能性アートプロジェクト」による作品二次利用からの収入は当協会6期収入の約50%を締め、全体の増収に大きく寄与しました。具体的な二次利用としましては株式会社安藤・間様の建設現場における仮囲いへのアート展開を始め、日本能率協会マネジメントセンター様発行冊子への年間掲載、日本生活協同組合連合会様が展開する通信販売紙への商品掲載等、一年間

作品拡散状況



## ■財務状況：収支・資本

6期は収入25,349千円に対し支出22,455千円、収支2,894千円の黒字となりました。

収入については前述の通り作品二次利用による収益事業収入増加が全体を底上げた他、継続的にご支援いただいています大口の寄付、多様な導線からの寄付増加、新規スポンサー等多くのプラス要因に支えられ、前期比238%と大幅な増収を実現できました。

財務の本質からは離れますが、収入の一翼を担います株式会社シャディ様のカタログギフト内チャリティページからはほぼ毎日のように日本全国から支援のご寄付を頂戴しています。この事実は、当協会の活動周知が着実に進み、そして多くの人々にご理解いただき応援していただいていることの証かと心強く感じます。

一方支出につきましては、収入増に伴う売上原価増がありました管理費の増加抑制により支出全体の増加を前期比約200%にとどめることができ、結果的に収支大幅増となりました。

この収支状況に伴い、純資産も前期末の2,654千円から4,498千円となり財務の安定性や健全性は、十分とは言えないまでもこれまでに比べ強化され、やや長期的な視点での投資他各種対応の検討が可能となりました。（※参考資料Ⅲ参照）

## ■その他：SDGs

今期は作品二次利用を通じて多くの企業様のSDGsのお取り組みをさせていただきましたが、それ以外にSDGsの周知啓蒙的な取り組みもいくつか行いました。

その一つは前期に続きましての横浜国立大学における「SDGsの視点から見た障がい者アート協会の活動」と言うテーマについての代表理事による講義登壇です。講義後約200名の学生から感想や各自の考えと言ったフィードバックを頂戴しましたが、その内容から見て大半の学生は当協会のような活動について知っておらず、それでも講義を通して「SDGsの視点から言っても大変意義のある取り組み」と多くのSDGsについて学ぶ学生に関心を持って頂くことができました。

またTOKYOFMにてSDGsをテーマに毎週放送されている番組へのゲスト参加や埼玉県SDGsパートナーへ登録申請・認定も行いました。

その他に、アートに関する直接的な活動ではありませんが、企業様が当協会の登録者を対象に従業員の採用活動を行い、実際に雇用されるという事例がありました。この事実は「誰一人取り残さない」といったSDGsの精神具現化に、当協会がアート以外の面でも微力ながら寄与していける可能性を実感させるものがあります。

なお、当協会のページ別アクセス数を見ると、SDGsのページは全体で4番目に多くみられており、社会の関心の度合いを確認することができます。引き続き、これらSDGsに関心をお寄せいただける企業の黒子役としての取り組みを強化してまいります。



### Ⅲ. 7期課題と目標

#### ■安定運営の確保：独自案件への取り組み強化

前述の通り6期は外部企業様との連携強化に注力しましたが、7期につきましては連携の位置づけはそのままに、SDGsの黒子役としての役割を定着化させ、独自案件の獲得増加に努めます。

具体的には問い合わせ数を現状の倍を獲得できるよう下記に取り組みます。

- i. ホームページ内で法人向けコンテンツの作り込み
- ii. 効果的なメール DM（SDGs視点での対象リスト作成）の実施
- iii. 広告（GoogleAG）の有効活用

#### ■支援体制の拡張：新しい時代への対応

これまで一般的にアナログ作品に比べ低い価値に見られていたデジタル作品の価値向上が、ブロックチェーンの技術を使って可能となってきていることから、参加アーティストの可能性を広げるためにもその対応を慎重に検討します。ただし、単独で取り組むことはなく、連携先を探し、迅速且つ確実に成果につなげられるよう対応します。

#### ■適正な業務の管理と遂行：人的リソースの強化

団体設立来、実質2名で運営してまいりましたが、参加者や公開・管理作品及び収益事業案件等の大幅な増加、そしてそれらに伴う付帯作業も大幅に増加していることから、本来やるべき業務、至急対応しなければならない業務等へ手が回っていない状況が散見されるようになってきました。これを解消するためにも収益状況を見ながら新たに職員採用を実施したいと考えます。

#### ■在るべき姿の確立：目標再設定と課題の整理

前述したとおり、団体設立時に掲げた支援規模に関する目標の達成が7期において確実となったことから、次なるステージの目標再設定が必要と考えます。所謂中期（3年）計画レベルで目標を再設定し、やるべきこととその実施にあたっての課題を整理します。

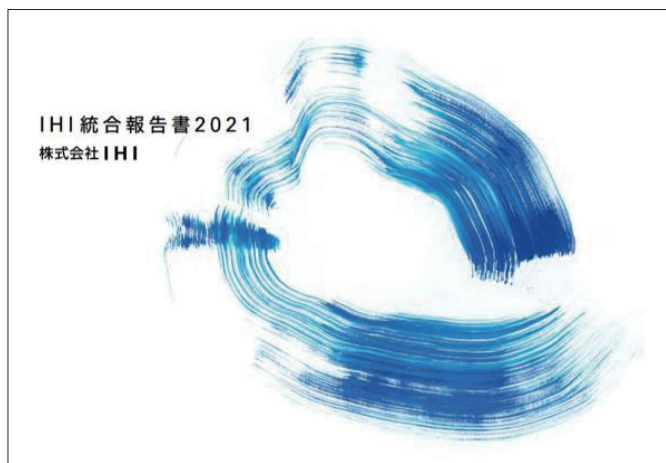
#### ■7期主要数値目標

	6期	7期	対6期	増減	備考
収入	25,349	40,000	158%	14,651	・収益事業、寄付、販売等
支出（千円）	22,457	35,000	156%	12,543	・売上原価、販売管理費、営業外支出
収支	2,892	5,000	173%	2,108	
アーティストの輪					
登録者（人）	845	1,200	142%	355	
作品数（点）	22,850	33,000	144%	10,150	
経済支援					
対象者数（人）	1,497	2,200	147%	703	・のべ人数
支援額（千円）	4,399	6,800	155%	2,401	・著作権利用料、創作活動応援費計

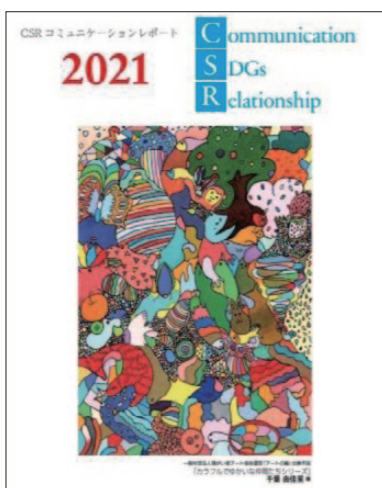
# 参考資料 I (作品二次利用実績一例：2021年6月～11月)



オリジナルカレンダー  
【株式会社オーディオテクニカ様】



統合報告書表紙  
【株式会社IHI様】



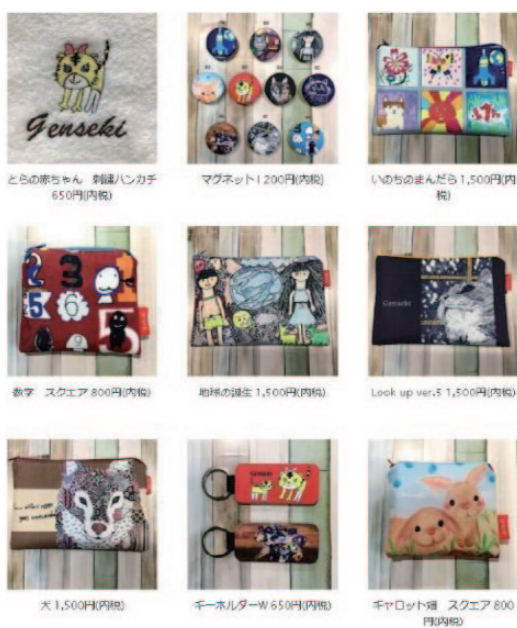
CSRコミュニケーションレポート表紙  
【アデランスグループ様】



機関紙表紙  
【(公社)日本フィランソロピー協会様】



ホームページビジュアル他  
【株式会社レボル様】



雑貨 (Geseki)  
【株式会社時代工房様】



展示・雑貨  
【ザ・ルイガンズ、スパアンドリゾート様】

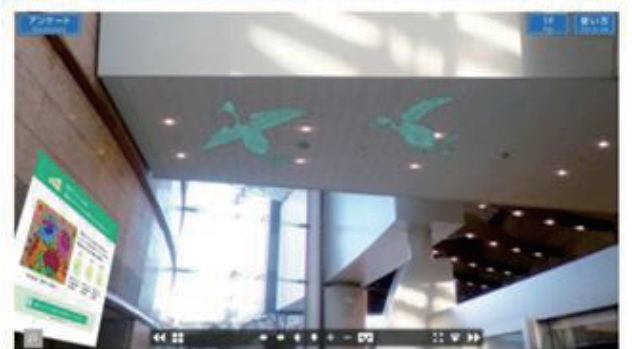
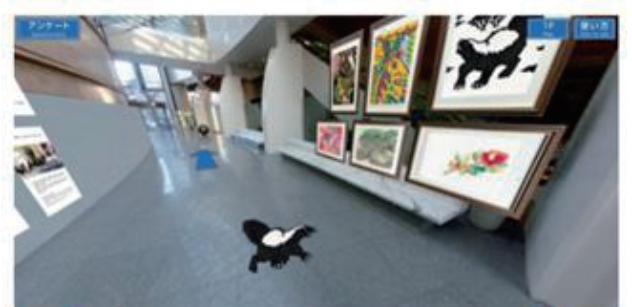


参考資料Ⅱ（可能性アートプロジェクト：株式会社凸版印刷様他共催）



小石川ビルブリマグラフィック展示

建設現場仮囲い  
【株式会社安藤・間様】



アートカレンダー

小石川ビルVR展覧会

## 参考資料Ⅲ（各種データ）

### 貸借対照表

（単位：千円）

	5期	構成比	6期	構成比	増減額	増減率
流動資産合計	2,774	98.6%	5,535	99.4%	2,761	199.5%
固定資産合計	39	1.4%	33	0.6%	▲6	85.4%
資産の部合計	2,813	100.0%	5,568	100.0%	2,755	197.9%
流動負債合計	606	21.5%	606	10.9%	0	100.0%
固定負債合計	0	—	0	0.0%	0	—
負債の部合計	606	21.5%	606	10.9%	0	100.0%
純資産の部合計	2,207	78.5%	4,962	89.1%	2,755	224.8%
負債・純資産の部合計	2,813	100.0%	5,568	100.0%	2,755	197.9%

### 損益計算書

（単位：千円）

	5期	売上比	6期	売上比	増減額	増減率
売上高合計	10,642		25,333		14,692	238.1%
売上原価	3,386	31.8%	10,404	41.1%	6,986	306.3%
売上総利益	7,256	68.2%	14,929	58.9%	7,705	206.2%
販売費及び一般管理費合計	7,870	74.0%	12,050	47.6%	4,215	153.6%
営業利益	▲614	-5.8%	2,879	11.4%	3,491	—
営業外収益合計	2,160		16	0.1%	▲2,144	
営業外費用合計	0		0	0.0%	0	—
経常利益	1,545	14.5%	2,895	11.4%	1,347	187.2%

## 参考資料Ⅲ（各種データ）

### 収入内訳

（単位：千円）

		5期			6期			
		金額 (件数)	構成比	平均単価	金額 (件数)	構成比	対5期	平均単価
作品二次利用	金額 (件数)	4,582 (56)	36% (54%)	82	17,396 (115)	69% (62%)	<b>380%</b> <b>(205%)</b>	151
スポンサー	金額 (件数)	1,957 (10)	15% (10%)	196	2,464 (9)	10% (5%)	<b>126%</b> <b>(90%)</b>	274
寄 付	金額 (件数)	3,806 (29)	30% (28%)	131	4,665 (52)	18% (28%)	<b>123%</b> <b>(179%)</b>	90
そ の 他	金額 (件数)	2,457 (9)	19% (9%)	273	835 (10)	3% (5%)	<b>34%</b> <b>(111%)</b>	84
計	金額 (件数)	12,802 (104)		123	25,360 (186)		<b>198%</b> <b>(179%)</b>	136

### 経済支援

		5期	6期	
著作権利用料	金額（千円）	1,233	3,254	264%
	対象者数（のべ人数）	339	663	196%
創作活動応援費	金額（千円）	390	1,145	294%
	対象者数（のべ人数）	676	834	123%
経済支援額計（千円）		1,623	4,399	271%

### 作品数、登録者数推移

	2期末	3期末	4期末	5期末	6期末
作品数	1,500	3,200	7,100	14,162	22,850
登録者数	76	201	440	535	845

一般社団法人 障がい者アート協会  
埼玉県飯入間市小谷田656-2グリーンコート101

代表理事 熊本 豊敏  
専務理事 水谷 陽平  
理事 柴田 礼子